



平成28年度京都市国保ドックの予約受付終了



毎年、多くの皆様に京都市国保の人間ドックをご利用いただきありがとうございます。今年度は例年に比べましてお申し込みがかなり早く、6月3日で予約受付は終了いたしました。このため京都市に予約追加の手続きをし、37件分の追加定員をいただきましたが終了しています。(合計507名)これから京都市国保ドックを申し込もうと考えておられた方には大変申し訳ございませんが、今後は、当診療所での健診をご希望者には簡易ドックコースをお勧めしております。〈裏面の簡易コースをご参照ください〉


7月1日から後期高齢者人間ドックの予約がはじまります

7月1日より後期高齢者人間ドックの予約が開始になります。対象の方は京都市在住の後期高齢者の保険証をお持ちの方です。74歳の方で受診日に75歳になられる方は後期高齢者人間ドックの対象になりますので、お間違のないようお願いいたします。ご希望日が先でもご予約だけは早めをお願いします。ドックは食事や飲み物の制限がありますので、脱水の心配もあり夏の時期は避けていただき秋以降の受診をお勧めします。

知 リース 気をつけようウンコの中の赤信号

京都民医連中央病院 大腸肛門科 川島市郎

大腸癌は増加傾向にある癌です。2015年の統計では癌罹患率(癌にかかる率)では1位。男女別で見ると、女性の癌としては乳がんに次いで多く、「**女性の癌死亡の1位**」になっています。特に、40才代から増加し始め、50才代で加速され、高齢になるほど増えていきます。日本人の場合は、S状結腸と直腸に癌が発生しやすいと言われています。

発生要因は生活習慣では飲酒や肥満が、食生活では赤肉や加工肉(ベーコン、ハム、ソーセージなど)の摂取増加が言われています。また、大腸癌の10人に1人は遺伝性と言われています。三親等以内に2人以上の大腸癌の方がいる場合は、20代でも大腸内視鏡検査をお勧めしています。大腸は食べたものの消化吸収にはほとんど関わらない2m程の管腔臓器です。大腸癌はこの管の内側にできて、管の中に張り出すような形で成長します。さらに、進行すると、リンパに転移したり、肝臓や肺に転移するようになります。

早期では**ほとんど自覚症状はありません**が、進行すると通過障害(便秘や下痢)が起こります。『快便だったのに最近、便秘で困っている』という場合は、医師と相談した方が良いでしょう。毎日の排泄物は、

自分の目で確認しましょう。

大腸癌の治療は**早期なら内視鏡で切除可能**です。しかし、進行すると手術が必要です。最近では腹腔鏡で手術するケースが多く、術後7日から10日で退院できます。ただし、かなり進んだ状態で発見された場合は開腹手術が必要になり、術後も抗がん剤治療が必要です。大腸癌は検診などで、早期発見されればほぼ100%治る病気です。**早期発見の鍵は便潜血検査**です。

便潜血検査は感度が低い検査ですが、毎年受けていれば早期の大腸癌やポリープなどを発見できる糸口になります。



ただし、便潜血検査が陰性でも出血や通過障害など、少しでも肛門や大腸に異常を感じたら、内科または肛門外科を受診しましょう。会社の健診などを受けられない主婦や高齢者の方は、京都市の制度を使って積極的に便潜血検査を受けましょう。

* お問い合わせ先 *

太子道診療所・健康サポートセンター

電話 075-822-8246

FAX 075-822-2861

*** 40歳以上の京都市民の方は、年に1回便潜血検査が300円で受けられます。(70歳以上は無料)**